

地域の特色を生かした教育活動を展開し、ふるさとへの愛着や誇りを育むことで、地域とともにある学校を目指します。

＜教育目標＞ **豊かな心で たくましく 伸びる子ども**

周囲の人たちや社会と積極的に関わる場を設け、子どもの自己有用感を育むことで、教育目標や学校像の具現化を図っていきます。

職員		【すべてのひととのかかわりを大切に】			連携
読解力向上を目指し、磨き、磨き合う職員研修 互いを認め、笑い合える職員集団		「学びをきたえる」プロジェクト	「心をたがやす」プロジェクト	「健康をつくる」プロジェクト	幼保小中との目標共有と行動連携 コミュニティ・スクールの推進
	重点目標	◆確かに学ぶ子ども	◆なかよくする子ども	◆元気な子ども	
	成果を測る指標	(1)国・算のワークテストで、80点以上の児童を85%以上にします。 (2)自分でたてた家庭学習の目標を達成できた児童を80%以上にします。 (3)「4月よりも、素早く丁寧に書くことができるようになった」「複数の根拠をもとに、考えを書くことができた」と評価する児童の割合を80%以上にします。	(1)学校が楽しいと感じる児童の割合を90%以上にします。 (2)みんなの気持ちを考えた言葉遣いや行動のできる児童の割合を90%以上にします。 (3)廊下歩行など安心して過ごすためのきまりを守ることのできる児童の割合を90%以上にします。	(1)運動が好きという児童、めあてをもって運動に取り組む児童をそれぞれ85%以上にします。 (2)長座体前屈の記録が、春の体力テストでは半分以上の学年が全国平均を超え、秋の体力テストでは春より記録が伸びる児童を60%以上にします。 (3)家族と決めた就寝時刻を守ることができる児童（7日中5日以上）を75%以上にします。	
成果に迫るために		○子ども、教職員、保護者、地域住民すべてが良好な関係を築くことを基盤とします。 ○整理整頓、安全管理、言葉遣い等、子どもの教育環境を整えていきます。 ○一人一人の子どもと学級担任、教職員がつながり、互いに認め合える集団づくりを推進します。 ○日々の授業を大切にし、授業改善を継続的に行っていきます。 【燕北小いじめ防止基本方針】→			





教職員

勤めてよかった

めざす学校像



子ども

通ってよかった





保護者

通わせてよかった